

鶴田の自然を満喫

鶴田町早春ほんもの体験ツアー

鶴田町早春ほんもの体験ツアーが2月21日（土）～22日（日）、23日（月）～24日（火）の2回開催され、福岡県や佐賀県をはじめ、21人が参加しました。このツアーは、地域住民が連携・協力し合い、自然豊かな地域資源を活かしたグリーンツーリズム（農村都市交流）体験プログラムを整備し、参加者の受け入れを行うものです。



ごぼうの掘り取りをしました



竹の子を掘る参加者

2月21日（土）参加者は、あびる館に集合し、各自車で移動しながら鶴田町早春ならではの体験をしました。まずごぼう掘り体験では、ごぼう部会長の大園米満さんから鶴田町のごぼう栽培の概要の説明を受けた後、みんなで体験しました。手掘りで抜けず苦労した後の機械掘りの威力には本当に驚いていました。掘り終わったあと、ごぼうの試食をし、みんな「やわらかくておいしい」と話していました。その後、大俣の野元八千代さんの家へ移動し、鶴田和紙の体験をしました。野元政志さんから和紙のできる

までの説明を受けた後、実際にカジの木を蒸し釜から揚げのを見学し皮剥ぎの体験しました。参加者は、簡単に剥けるのにびっくりしていました。その後、紙漉きを体験し、一人ひとり思いの飾り付けをしました。その紙を竹製の行灯に貼り、自分だけの行灯を作りました。2日目は、しいたけの菌打ち体験で、はじめに島元明則さんからしいたけのできるまでの説明を受け、菌打ちをしました。ドリルで開けた穴に、「うまく育つてね。」と思いを込めて菌のコマを打ち込んでいました。それぞれおみやげようにきのこ

のついた木をもらって帰りました。次に、外園護さんの竹林で竹の子掘り体験をしました。実際竹の子を掘りきれいな竹の子が顔を出すと、びっくりした様子でした。参加者も回りを探してみましたが、今年は裏年で時期も早いせいか、なかなか見つかりませんでした。すべての行程を終えて、大野公民館でとれたのしいたけやごぼう、竹の子などの食材で作った昼食を、地元の農家の人と一緒に食べ、みんな満足しているようでした。参加した人たちは、鶴田の自然を満喫して帰路につきました。

町営不燃物処理場の閉鎖について

これまでご利用いただいていた神子大野の町営不燃物処理場は、3月28日の開場日をもって閉鎖することになりました。これは、国、県から、不適正処分場の廃止を強く要請されていることと、平成13年から容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの分別収集が始まり、定着してきたことによります。

今後は、各集落の資源ごみステーションに「ごみの分け方と出し方」を参考（平成13年に各家庭に配布済み。ない場合は役場住民課にあります。）にして出してください。

ごみの出し方(抜粋)

資源ごみ	資源ごみステーションに出します。 (月2回収集)	缶類	スチール缶、アルミ缶	- 缶を良く洗って指定の袋に入れて出す。 - 海苔缶、お菓子缶、ミルク缶、食用油缶などは、不燃物・粗大ゴミの日に指定袋に入れて出す。
		ビン類	茶色のビン、無色のビン、一升ビン、五合ビン、ビールビン、その他のビン	- ビンのふたをとり、中を良く洗って出す。 - クリームや油、薬品、塗料などのビンは不燃物・粗大ゴミの日に指定の袋に入れて出す。
不燃・粗大ごみ	せともの、かさ、電球、乾電池、おもちゃ、時計、自転車、なべ、ストーブ、ガラス、トタン、ガスレンジなど			- 資源ごみステーションに、指定の日（不燃・粗大ゴミの日）に出す。 - ただし、大きなもの（タンス、ソファ、布団、机など）は直接クリーンセンターに持ち込む。

町営不燃物処理場の3月の開場日は3月7日、14日、21日、28日の日曜日のみです。開場時間は、午前8時30分から午後5時までとなっています。

3月28日までは、町営不燃物処理場を利用できますが、燃えるもの（紙類、ダンボール、雑誌、ビニール袋、靴、衣類、木材ほか）や、布団、タタミ、タイヤ、バッテリー、プロパンガスボンベ、農業用ビニール、農機具、バイク、建築廃材等の産業廃棄物などは持ち込めません。

また、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、パソコンについては、家電リサイクル法に基づき業者にお金を払って処理してください。

以上のような町営不燃物処理場に捨てられないものを持ち込まれても、そのまま帰っていただくことになりますのでよろしくお願いします。

▽問い合わせ 役場住民課保険衛生係 ☎59-3111（内線122）

空き缶等のポイ捨て目立ちます!!

鶴田町環境美化条例が施行されて3ヶ月が過ぎますが、依然として空き缶やごみ等のポイ捨てが目立っています。

環境美化推進員の萩木場光三さんが、2月14日（土）鶴田区内の道路でこんなに多くの空き缶や生活ごみ等を集めました。中には、家庭のごみを袋いっぱい捨ててあるものもあったそうです。

一人ひとりが環境美化の意識を持って生活するよう心がけたいものです。



集められたごみの山